



大阪東ブロック 大東支部
(株)山田製作所 山田 雅之

大阪東部、飯盛山の麓に位置し、市内の2/3は生駒山地内にある小さな街の四條畷市を紹介します。今年(2017年)、日本最年少の市長が誕生したことで少しニュースに取り上げられました。

歴史は古く、2万年前の旧石器時代の讃良川床遺跡があり、有名なところでは南北朝時代の四條畷の合戦などは全国的にも知られ、各時代の遺跡があり歴史的にも楽しめる街です。

今回は、山を東に越えた場所にある田原地区を紹介します。現在は開発がすすみ住宅街になっていますが、昔からある古い町並みも多く残っています。



田原の外れには昔大阪と奈良を結んでいた古堤街道が通っており、そこには戦国時代の山城、田原城跡があります。建造者は田原対馬守(田原レイマン)。その時代畿内の支配者となった三好長慶の居城飯盛山城の支城といわれています。

長慶の家臣にはキリスト教の洗礼を受けた人が多く、田原城主の菩提寺千光寺跡の発掘では田原レイマンの墓標といわれる日本最古のキリシタン墓標が見つかっています。



天の川が流れ、棚田が広がる田原の風景は、江戸時代この地を訪れた貝原益軒が「あたかも桃源郷のごとし」と賛美しました。みなさまも一度大阪の桃源郷、四條畷市の田原を探索してみてください。

生駒山脈の西麓、太古の歴史を今に伝える北の端には天の川、寝屋川が豊かな水をたたえ淀川に注ぎ込みます。南は恩地川が大和川へ合流。豊かな水も過ぎると暴れ川となり、河内平野は洪水にみまわれた治水の歴史でありました。青々と息づく稲穂に四條畷の昔を偲びます。(編集 西岡)